

色の組み合わせによる印象の変化

研究背景

単色についてはすでにたくさんの記述 → 逆に複数色の効果については記述が少ない。

仮説

単色の効果と比べて、色を組み合わせることによって単色が与える印象が変化するのはではないか。また、組み合わせる色の種類によって変化の大きさに差が出るのではないか。

調査手順

- ・前高の生徒27人にインタビュー形式でアンケート調査を行った。
- ・赤、青、黄の三色を用い、単色3つと二色の組み合わせの計6つをその場で見せる。(上図)
- ・印象を温度、活発さ、清潔さの3観点・7階級で示してもらう。

実験結果・考察

【折れ線グラフから】

<赤>

- ・温度：黄が背景になると、単色の赤とほとんど変わらない。青が背景になると、温度を低く感じさせる。
- ・活発さ：温度同様に、黄が背景になっても単色の赤とほとんど変わらない。青が背景になると、印象にばらつきが出る。
- ・清潔さ：色の組み合わせによる感じ方の変化はあまり見られない。

<青>

- ・温度：赤、黄が背景になると、温度を高く感じさせる。また、赤のほうが与える効果大きい。
- ・活発さ：赤、黄が背景になると、より活発に感じさせる。
- ・清潔さ：赤、黄が背景になると、清潔さを低下させる。また、赤のほうが与える効果大きい。

<黄>

- ・温度：赤が背景になると、温度を高く感じさせる。青を背景にすると、温度をはっきりと低く感じさせる。
- ・活発さ：温度同様の変化を与える。
- ・清潔さ：赤を背景にしてもほとんど変わらない。青を背景にすると、より清潔に感じさせる。

【縦棒グラフから】

- ・どの色が入っているかによって印象が決まり、どちらを背景にするかはあまり関係しない。

結論

- ・色を組み合わせることによって印象を弱めたり真逆の印象に変えたりすることができる。また、与える印象は組み合わせる色の種類によって変化する。

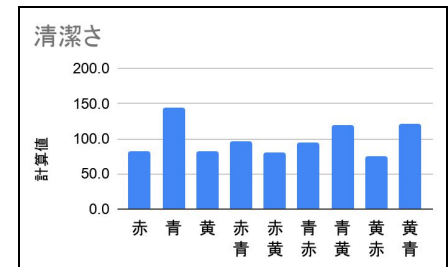
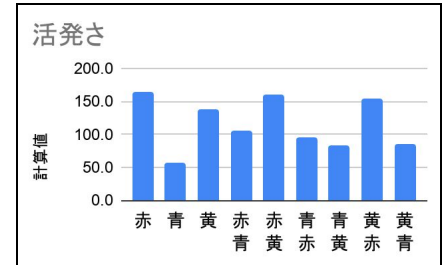
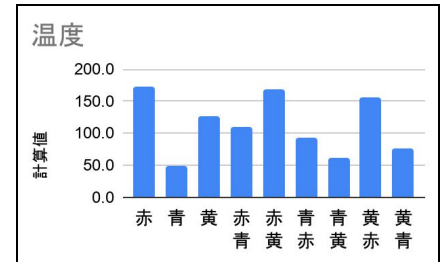
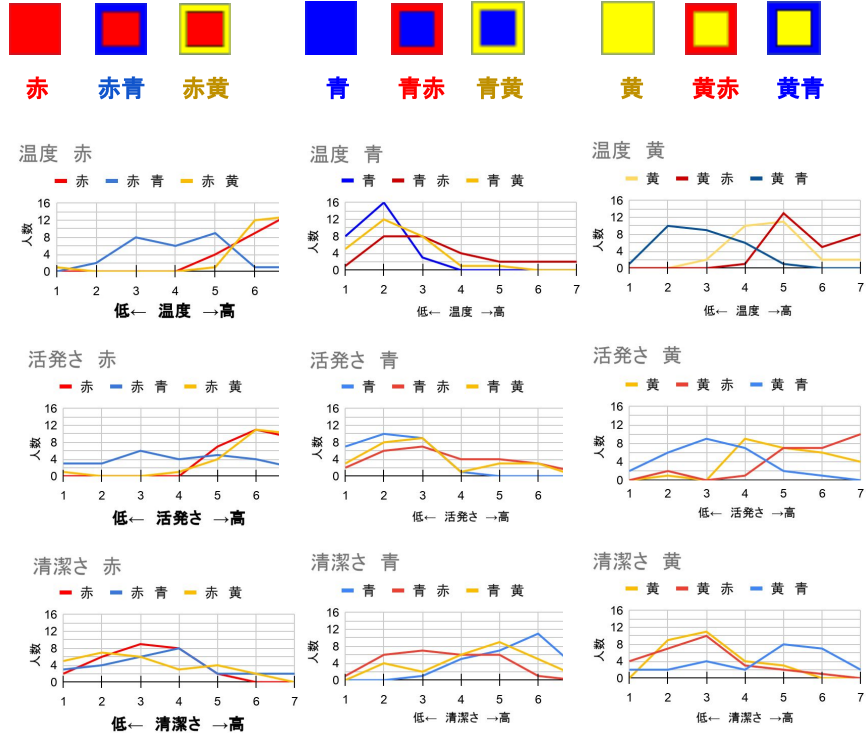
- ・与える印象について、各色の大きさはあまり関係なかった。形や位置はどう影響するか調べたい。

- ・今回は3色のみの研究だったため、他色との組み合わせによる影響も調べてみたい。また、データの母数が少なく正確性が低いので、改善したい。

- ・色の組み合わせが簡単なので身の回りにあるもの（ソファやクッションの色の組み合わせ）に応用して、住まいに生かしていきたい。

参考文献

- ・辻田忠弘ほか じんこんもん 2002年論文集より「フェルメールの「真珠の耳飾りの少女」における青いターバンの効果に対する心理物理的評価」
- ・伊藤久美子ほか 大山正 2005年日本色彩学会誌より「異色相間の二色配色の感情効果」



※計算値＝各階級の(度数)×(階級値)の総和